



BETHEL通信

2024年1月号 (第246号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

『新年のご挨拶』



皆さま、新年明けましておめでとうございます。昨年5月から新型コロナウイルス感染症の分類が2類からインフルエンザと同じ5類に下がりました。道後温泉を訪れる観光客も増えてコロナ前の賑わいを取り戻しています。3年越しにスタッフで集まるクリスマス祝会を開くことができ、with コロナの生活が少しずつ安心して送れるようになったことを実感できた1年であったと振り返っています。3年越しにはもう一つの思いがあります。2020年10月に日本死の臨床研究会の年次大会をベテル病院の全面的なバックアップで開催を計画していましたが、コロナ禍で中止となり、昨年11月に愛媛県民文化会館で開催することができました。全国から2000の方が大会に参加され、講演やシンポジウム・ワークショップ・事例検討などを通して人に必ず訪れる死の問題や生きることの意味を身近な問題として、考え語り合う場を持つことができました。会の運営には多くのボランティアの方のご協力と共に当法人スタッフの応援でスムーズに進めることができ大変感謝しております。本当にありがとうございました。

昨年の年次大会開催の体験は多くの学びが有りました。一つは、大きな出来事を皆の力で成し遂げるといふ貴重な体験でした。国は医療におけるDX化を推進し「医療DX令和ビジョン2030」を打ち立てています。これからの医療は様々な情報をデジタル化し、施設内で効率的に情報処理をすることにとどまらず、施設間で情報の共有が図れるような仕組みを国レベルで推し進めて行こうとする取り組みです。当院は情報のデジタル化の取り組みにおいては後れを取っている病院で、実現させるためには法人全体で一つになって取り組むべき課題で、形にしてゆくための結集した力なくして実現できない事柄であり、年次大会開催は力の結集を学ぶことができた体験でした。もう一つは、大会のテーマとして掲げました『お遍路の里四国から～死に学び生を考える、看取りを文化に』から、松山が育んできた郷土の文化的な営みを再発見するとともに、死を思う事は生を考える事であり、生を考えるという事は死と向き合う事であるという生死は一体化した中で営まれているという事を多くの参加者とのふれあいと語らいの中で改めて実感できました。この体験は、ベテル病院が開設当初から掲げている理念であるホスピス精神を大切にされた全人的ケアの在り方そのものであるという確信を得た事でもありました。医療法人聖愛会が地域の中で利用者の皆様から愛される施設として地域に根差してゆく事は、看取りの文化を醸成して行く新たなミッションとしてこれから一步一步進んでゆきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(医療法人聖愛会 理事長
松山ベテル病院 院長 中橋 恒)



竹の不思議



私がベテル病院に来て9ヶ月程経ちました。まだまだ勉強中の身ですが、皆さまのおかげでようやく仕事にも慣れてきたように感じています。

さて、この冬は暖冬と言われていますが、病院の周りの木々を眺めていると今月に入ってようやく葉が色づき始めているものも見られます。最近になってやっと寒くなってきましたが、今年は植物も大慌てで冬に向けて準備をしているのではないのでしょうか。

病棟西側には、建物に触れる程近い所まで樹木が生えていますが、時にはその中でキジバトやメジロ等の野鳥が飛び回っているのを見かけます。私は生き物が好きなので、枝葉が揺れているとそういった動物がいないかといつ探してしまいます。一方で近頃は植物の生態も面白く感じるようになり、気になったものは色々と調べるのが一つの趣味のようになっていきます。

病院周辺の山では竹がたくさん見られます。しなやか、丈夫、成長が早いこと等はよく知られていますが、調べてみると意外なことがいくつもありましたので、少し紹介させていただきます。

竹はイネ目イネ科の植物で、基本的に地下茎を広げながらタケノコが直接生えることで増えていきます。地下茎で増殖したものは同一遺伝子のクローンで、一斉に開花して一斉に枯れることが知られています。ただし、花を見ることは非常に難しいみたいです。なぜなら、竹が生えてから開花するまでに60年から120年（推定）かかるからです。驚きですね！竹の花を見ることができればぜひ自慢しましょう。

また、学説によって異なりますが、竹の種数はとても多く日本だけでも150～600種もの竹が生育しているそうです。姿形・色も多種多様で、例えば節が斜めになっているちょっと変わった見た目のもものもありますので、興味を持たれた方は是非調べてみてください。「水戸黄門の杖」で検索してみても出てきますよ。

さらに竹は、草か木か？について意見が分かれている、ということも他の植物ではあまり見られないポイントです。木のように大きくなるし、また前述の通り長寿なのですが、その構造は空洞や節といった「一般的な木では見られないもの」となっています。そう考えると、見慣れた竹ですが何とも不思議な存在に思えてきますね。

ホスピスケアでは、本当に様々な患者さまやそのご家族と対話を行います。病棟の窓から今日も竹を眺めながら、竹のようにぐんぐん成長を…とはなかなかいきませんが、せめてもう少ししなやかに対応できるよう、これからも色々学んでいきたいと思えます。

(ホスピス医 松井 貴司)



採血のはてな？



*採血量ってどれくらい？

1本の採血管で最大10ml程度です。

一般的に体内を流れる血液の量は体重のおよそ13分の1から12分の1とされています。

例えば、50kgの方では3800mlから4100mlの血液が体内を流れています。小さな採血管では1本が2mlで本数が多い場合でも約20mlの採血です。(体内を流れる血液の15%以内が急速に失われても血液の流れに影響がないことが報告されています。また、血液は毎日血液全体の120分の1が新しいものに入れ替わっています。)

採血では貧血になりません。安心してください！

*採血の後なぜ押さえるの？

血液は止まるまでに時間がかかります。血液が止まっていない状態で重いものを持ちたり押さえなかったりすると血液があふれだして内出血をおこしたり服を汚したりします。

採血が終了して3分ほど圧迫すると血が止まります。

※決して揉まないでください。日頃から血が止まりにくい人は長めに押さえてくださいね。

*食事はしても大丈夫？

血液検査には食事の影響で値が高めに出る項目があります。

例えば、血糖・中性脂肪・インスリンなどです。中性脂肪は食事をすると小腸からすぐに吸収されるので高い値になります。(コレステロールはLDLもHDLも肝臓で合成されないと上昇しないので食事の影響はありません)血糖は食後1時間ほどでピークになり3時間ほどでほぼ空腹時と同じ状態に戻ります。

朝起きてから口にしたものを伝えることで検査値への影響を知ることができます。

採血は嫌だと思ってしまう方が多いと思いますが、今の体の状態を知るいい機会だと思って頑張りましょう！



(検査技師 濱田 秀美)

外来診療日のお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

1月10日（水）、1月24日（水）

◎多田 聡 医師（神経内科）

1月4日（木）、1月18日（木）

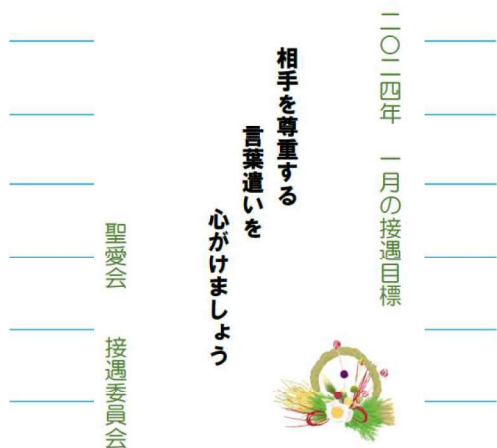
◎吉田 暉 医師（神経内科）

1月11日（木）、1月25日（木）



松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標をかかげています

1月 接遇目標



接遇委員会

1・2月 医療安全推進目標



医療安全委員会

新人紹介

あさの まい
浅野 麻衣



配属部署：3階西病棟
職種：看護師
抱負：皆さまに信頼されるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

クリスマス礼拝



12月11日（月）クリスマス礼拝が行われました。今回は院外の方も呼び出しての開催となり、去年とは違って温かな雰囲気となりました。小島牧師先生のクリスマスメッセージ、パイプオルガンの心地よい音色の中、みんなでクリスマスを賛美しました。

ベテルを支えてくださっているすべての皆さまに感謝いたします。

Wishing you Peace and Happiness at Christmas.



ベテル旬会

茶柱に
うれしき予感
春立ち日

（河田 和子）



投句箱は受付・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。

『ベテル通信』についてのご意見やご要望はご意見箱へお願いします。

掲載中の写真についてはご本人様、ご家族様の許可を得ています。

発行日 2023年12月25日